

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	40	昼食時には手書きのメニューだけでなく、口頭による食材紹介で話題作りと季節感に触れる効果も期待したい。	食事前の食事に関連したレクリエーションを継続する。	これまでも、食事前には30分程度以下のようなレクリエーションに取り組んでいるため継続。 ①軽い体操、口腔体操(リラックス効果や唾液分泌促進のため)、②食事メニューの発表や食材やメニューに関連した話題提供、③食事内容によっては注意喚起。	新たな試みはなく、継続
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。